

News

広島県農地中間管理機構

令和2年度第1回農地中間管理事業地域駐在コーディネータ戦略会議を開催

9月24・25日の2日間、第1回農地中間管理事業地域駐在コーディネータ戦略会議を開催しました。東広島市・神石高原町・安芸高田市の県内3か所で開催し、活発な意見交換が行われました。会議には、地域駐在コーディネータに加え、関係市町・県農林水産事務所が参加しました。

- 内容**
- I 令和元年度借受希望者への意向確認結果の概要
 - II 農業振興施策と連動した農業委員会活動のススメ
 - III 意見交換

～I 令和元年度借受希望者への意向確認結果の概要～

調査期間: 令和2年1月～5月 回答数: 518 経営体/649 経営体
 調査方法: 郵送及び地域駐在コーディネータの聞き取り

- 1 今後の規模拡大の意向
 規模拡大希望…300 経営体
 現状維持…218 経営体
 規模縮小…5 経営体
- 2 借受希望面積…1,402ha
- 3 借受希望時期
 今すぐ借りたい…97 経営体
 2～3年以内に借りたい…163 経営体

借受希望者の46%が規模拡大を希望。
 40%が「今すぐ」「2～3年以内に」借りたいと回答



～II 農業振興施策と連動した農業委員会活動のススメ～

農業振興部局と農業委員会が連携し、地域の話合い活動に取り組んでいる三次市の事例について情報共有しました。

地域の農地利用の最適化に向けて
 ～農業振興施策と連動した農業委員会活動のススメ～



令和2年8月
 広島県農林水産局就業支援課
 一般財団法人広島県農業会議
 一般財団法人広島県森林整備・農業振興財団

- ① 旧市町単位で農業振興を協議する戦略会議を設置し、地域駐在コーディネータ・農業委員・農地利用最適化推進委員が参画
- ② 市農業振興部局が中心となり集落ごとに担い手の確保状況や農業施策の実施状況について取りまとめた一覧表を作成
- ③ 農業委員・推進委員が営農組合などの役員と調整し、地域の話合いや農地所有者の意向調査を実施
- ④ 戦略会議で実践した取組を共有し、次の取組につなげていく

～III 意見交換(抜粋)～

神石高原会場 (参集範囲: 福山市・三次市・庄原市・神石高原町管内)

地域での話し合いについて

- コーディネータが自ら行動することで、他の地元役員の意識も変わった。
- 農業委員・推進委員の改選を機に人・農地プランや協力金の勉強会を開催し、理解を深めることができた。
- OJAの持っている情報も共有するため声掛けしていきたい。

マッチングについて

- 非農家も含め地域で守る意識を高めていく必要がある。
- 企業への貸付けを反対している所有者に対し、地元役員や農業委員と連携し説得に当たった結果、集積につながった。

東広島会場 (参集範囲: 三原市・尾道市・東広島市・江田島市・世羅町管内)

地域での話し合いについて

- 人・農地プランの作成について、農業委員に先に声をかけている。地域の役員との調整がスムーズになる。
- 農業委員・推進委員が担い手への農地集積を積極的に行ってもらえれば、かなりの力を発揮してもらえらると思う。
- 地元のことがよく分からない農業委員や推進委員も多くおられる。コーディネータが農業委員や推進委員を引っ張っていている。

マッチングについて

- 産地振興の為にJAが農地集積に主体的に関わっている地域もある。

安芸高田会場 (参集範囲: 安芸高田市・北広島町管内)

地域での話し合いについて

- 三次市の事例のような活動をするためには、行政や農業委員会で音頭を取る者が必要。
- 過去作成した人・農地プランで、話し合いの機会を作ることはできる。コーディネータや農業委員・推進委員が旗振役になっても構わない。

マッチングについて

- ほ場整備は規模拡大を希望する担い手には欠かせない。
- ほ場整備を進める地元の旗振り役の確保が課題。
- 相談や声掛けがあれば農業委員・推進委員が調整役を行うこともあるが、農地集積への取組みに対する理解が進んでいない。

☆意見交換では、担い手不足の解消、ほ場整備、農業委員・推進委員・JAとの連携についての多くのご意見がありました。
 ☆これらの課題解決へむけた具体的な行動につながる様、関係者の皆様方と今後も議論を深めて参りたいと思います。